



# 六中だより

～自主・勤勉・共生～

6月号 No. 3

令和6年6月発行  
港区立六本木中学校  
校長 松島 智子

## 感動的な運動会でした。

校長 松島 智子

6月8日（土）、これ以上ないという晴れ渡った青空の下、第26回運動会が行われました。今年の運動会は昨年度までとは違い、各学年3クラスが揃い、色も2色（赤、白）に黄色が加わり、縦割りの軍団で競いました。また全校種目として新たに「大縄跳び」が加わりました。クラス毎に通算で何回跳べるかを競います。この競技に関しては走るのが速い、遅いは関係ありません。いかにクラス全員が同じ気持ちでタイミングを合わせて跳ぶことができるかどうかにかかっています。練習の時から気持ちを一つにするために、大きな声で掛け声をかけ合ったり、失敗した時はどうしたらうまく跳べるのかを話し合ったり、日ごとにクラスの団結が深まっていくのが感じられました。当日は、練習のようにいかなかったクラスもあれば、今までで一番多く跳ぶことができたクラスもあって、それぞれ思うところはあるかもしれませんが、あきらめずに最後まで全員が取り組んでいる姿に必死な気持ちが伝わってきました。この団結力をこの後の行事にぜひともつないでいてほしいと思います。



さて、今年の見どころはまだありました。1年生の「台風の目」では、1年生3クラスとS組と2、3年生の体育委員が入ってスペシャルチームを編成し、競技を行いました。この競技はパワーを必要とする競技でしたがどのチームも勝ちたいという気持ちが前面に出て真剣な表情で取り組んでいました。S組の生徒も日頃の練習の成果を十分に発揮して、とても楽しそうな表情が印象的でした。

それから「表現」種目のダンスですが、こちらは今年度から新設したダンス部を中心に、有志の生徒によるダンスを披露しました。最初は有志がどのくらい集まるか心配されていましたが、実際には男子も多く参加して、大変盛り上がりました。ダンス部にとっては初めて公に披露する機会でしたので緊張もあったかと思いますが、これから益々練習を積んで磨きをかけて大きな舞台へと進むダンス部の今後の活躍が楽しみです。

そして3年生による「ムカデリレー」。これまで六中の運動会の顔ともいえる競技です。この競技は、体力的にもきつく、また練習時間を多く必要とします。さらにけがの予防を最優先に考えなければならない難しい競技の一つです。今年は最後の運動会となる3年生の学年種目として実施しました。そこはさすが3年生。スピードに乗り息の合った迫力あるレースを展開してくれました。みんなのかけ声が響き渡る中、観客は祈るような気持ちでそれぞれの隊を見つめ、全体が一つになる時間でした。3年生、お疲れさまでした。





また、徒競争やリレーでも全生徒が自分のできる最高のパフォーマンスを見せてくれました。転んでもすぐに立ち上がる姿、バトンがうまく渡らずそれでも必死につなごうとする姿、自分のクラスや色(チーム)の選手を応援席から一生懸命に応援している姿など、たくさんの場面で、皆さんの運動会を楽しもう、みんなで成功させるんだというまっすぐな思いが伝わってきました。開会式で私は「観ている人は、

頑張る姿に勇気をもらいます。何かを一つのことを成し遂げようとする姿に感動を覚えます。」と話しました。今回の運動会は、正にこのことを皆さんが実践してくれたと思っています。主役であるみなさん一人一人の気持ちの表れが、この六中の運動会を創っているのです。見に来てくださった来賓の皆さまからはそろって「いい運動会ですね」とお褒めの言葉をいただきました。生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

今年の運動会は来賓、保護者、家族の方を合わせると626名の方に観戦していただき、敬老席も用意していた席では足りなくなるくらいでした。PTAの役員とボランティアの保護者の方には受付と誘導、巡回をお願いして大きな混乱もなく実施することができました。また、前日準備と当日の朝も早くから準備にあたった先生方や係生徒の他にも、用務主事さんの力も大きな助けになりました。閉会式後に残ってくださった保護者やご家族にも、テントを片付けていただきとても助かりました。このように多くの人たちの支えがあってこそ、今回の素晴らしい運動会が実施できたことは、本当にありがたいことです。改めて携わっていただいた全ての方に感謝をいたします。「最高の運動会、最高の一日をありがとうございました。」

## スタディサプリを導入しました。



今年度、本校では教育委員会から補助を受けて、全校生徒にスタディサプリのアプリを導入しました。既に授業や家庭学習で活用を始めているところですが、さらに家庭学習の一助として活用を深めていただければと保護者の皆様にもご紹介をいたします。

今回、導入した理由の一つは「学力の向上」です。この教材は、小学校からの振り返り学習も可能ですし、ドリル教材のみならず、講師による動画解説も視聴できるので基礎学力の定着を図ることができます。1人1台、港区から支給されているiPadを学校でも家庭でも有効に活用し、生徒ができる時にやりたい内容を繰り返し取り組むことによって、個々の苦手な科目を克服するとともに間違いやすいところやつまづきをなくすことができます。期末考査も近いことから、是非ご家庭でも活用の頻度を上げていただき、学力アップにつなげてほしいと願っています。

### 【「スタディサプリ」の内容と期待できる効果】

- ① 基礎から説明してくれるわかりやすい講義動画。
- ② 自分のペースで、繰り返しの視聴ができる。
- ③ 前の学年(小学校まで遡って)の学び直しができ、つまづきの解消ができる。
- ④ 講義動画→確認テスト インプットとアウトプットのサイクルで効率よく学習できる。
- ⑤ 5教科で複数のレベルの学習コンテンツにより得意教科の先取りもできる。